

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (中国)		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・地元プロ野球チームの優勝セールが好調で、販売量が大幅に増えて景気が良くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・地元プロ野球チームの優勝に伴うセールに対する客の反応は良く、活況を呈している。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・地元プロ野球チーム優勝の特需により、売上が伸びている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・500万円以上の美術品が売れ、企画催事も盛況で今月は好調である。
		百貨店（人事担当）	来客数の動き	・8月と9月の来客数は前年超えて推移している。ファミリー向けの催事や北海道物産展などへの集客が高い。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・気温が高く中食や飲料等の販売量が好調に維持している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月と比較すると9月初めは売上、来客数共に2けた伸び、天候が不順な現在でも6%近くの伸びがあるので、非常に良い状況である。工事客以外の客が増えている。
		コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・地元プロ野球チームの優勝効果で来客数が増加している。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数が増えている。
		乗用車販売店（店長）	単価の動き	・3か月前は高額車両が売れず収益面で苦戦したが、今月は好調に収益目標を達成し、前年の115%である。
		その他専門店 [和菓子]（経営者）	販売量の動き	・観光客が増加している。
		その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	来客数の動き	・近隣イベントの集客効果で来客数や買上点数などが順調に伸びている。客単価は低くなっているが、飲食を中心に堅調な動きが見られる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・インターネットの飲食店サイトの影響で、単価はそれほどでもないが、来客数は確実に増えている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・観光シーズン到来で、来客数が伸びている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・地元プロ野球チームの活躍等で来客数が増えている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子がやや良い。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・行楽シーズンを迎え、当県にも観光客が多数来ており、いずれの消費も例月よりは上向き傾向である。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・夏が終わり過ごしやすいく気温になって観光客の動きが良くなってきている。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・9月初旬に開催したG1競争で売上が確保できている。
		設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・同業他社の受注状況が改善しており、年明けまでは受注ストックもあって昇り調子である。
	住宅販売会社（営業所長）	お客様の様子	・低金利の状況で土地から購入する客の動きが多少良くなってきている。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の通行量が増えないので、来客数も増加しない。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候が不順で、観光客は近隣市町の人割合が多く、外国人観光客の入込は少なく爆買いをする客もいない。地元客の買い控えもある。	
	商店街（理事）	来客数の動き	・残暑の影響で買物に出かける客の消費行動が活発でなく、必要な物しか購入しない。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・買い控えをする客の姿が目立つ。	
	一般小売店 [印章]（経営者）	お客様の様子	・世代交代や会社へ余裕が出てきたことにより、代表者印の注文が多い。	
	一般小売店 [靴]（経営者）	販売量の動き	・商店街への来街者数が少なく、売上が伸びない。	
	一般小売店 [紙類]（経営者）	来客数の動き	・週末の旅行客数が増えている。	
	一般小売店 [茶]（経営者）	お客様の様子	・国内での売上は相変わらず低調で、前年を少し割っている状況であり、海外輸出に助けられている。	

一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・経済的に余裕のある購買層しか来店しない傾向にある。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・雨が多いせいか、9月に入り来客数が減少している。物産展の売上は前年をクリアしているが、婦人服の動きが鈍く、セール品、初秋品共に売上は前年を大きく下回っている。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・上旬の厳しい残暑、活発な秋雨前線による中旬の降雨継続と、前年に比べて不安定な気候が一因となり、婦人、紳士の秋物衣料の低迷が顕著である。特に婦人服は春夏から中級ゾーンの低迷が続いており、ミセスを中心とした客の節約消費は依然継続している。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・衣料品関係は婦人服、紳士服、子供服共に厳しい状況である。客は行楽に金を使う傾向であり、気温も高いままなので秋物の動きが鈍い。アパレル業界は売上が厳しく、人員削減を検討している。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・地元プロ野球チームの優勝セールで1週間は売上を大きく伸ばしたが、その前後の客の買い控えが大きく、1か月トータルで見ると、売上は前年をやや上回る程度の見込みである。
スーパー（店長）	単価の動き	・台風と雨の影響で特に北海道産商品が値上がりし、客は安い物に集中している。
スーパー（店長）	お客様の様子	・客は必要な物を必要な量だけ購入する傾向が引き続き見られる。安くても必要ない物、なくても困らない物については購入に慎重である。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・生鮮物の価格高で商品が動いていない。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・店舗により来客数のデータにばらつきがあり、好調不調は競合店等の影響によるところが大きい。ただし客単価は全店減少傾向であり、客の買い控えとともにディスカウント品へのシフトの影響が続いている。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・9月は来客数、販売量共に伸びていない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数と客単価が伸びない。
家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・エアコンの動きが盛り上がらない。
乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・会社員、個人事業主共に景気の上向き感も下向き感も感じていない。特に何も変わらずといったところである。
乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・土日展示会は整備入庫でぎわっているが、新車商談の来店は相変わらず増えてこない。
その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が少ない上、購買単価も低下している。
高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・週末は個人客が多く、客単価も良い状況であるが、平日の企業関係の利用が増えない。
観光型ホテル（宿泊担当）	単価の動き	・客は正規料金ではほぼ予約に至らず、安い単価なら成約に結び付く。
都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・国内外の宿泊客数とレストラン来客数にあまり変化はないが、企業宴席がやや減ってきている。
都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・今月の先行予約は順調だが、台風などの天候不順もあり、間際の伸びが鈍く例年並みとなっている。
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・秋の旅行シーズンを迎えるが、国内、海外共に個人旅行の取扱額は前年を割り込んでいる。
タクシー運転手	販売量の動き	・9月の売上は前年の90%以上が確定している。
通信会社（販売企画担当）	来客数の動き	・来客数は増えることもなく、市場へのカンフル剤もない。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・モバイルの新端末発売にはそれなりの反応がある。必ずしも低価格訴求と限らず、高付加価値商品への客の関心度は低くない。
テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・入館者数、商品販売高騰は前年同月比で変動がない。
ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・9月に入り2回台風が発生するなど、天候不順が原因でキャンセルが増えている。
美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数は気候によって多少の変動はあるが、新規客が増えることもなく変化はない。
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・国の施策で省エネ等に関する補助金はあるが、住宅の新築物件や補助金を使用したい物件にはしばらく当たっていない。

設計事務所（経営者）	お客様の様子	・消費動向に変化は見られない。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・今月も住宅新築の引き合いがなく、客は住宅ローン金利が最も低い状況なのに、景気の先行き不安から、大きな買物を控えている。
商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街でイベントを行うときには、そこそこ来客は増えるが、それ以外はあまり良くない。
一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・1品単価は上昇しているが、来客数と販売数量が減少している。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・売上が前年を下回る部門が多くなってきている。化粧品や貴金属、美術品は前年比でプラスだが、婦人服は9月の気温が高く秋物の売行きが悪くなかったため不調である。主力部門なので全体への影響が大きい。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・物産展や商店街イベント等の効果で来客数は前年の2けた増で推移するものの、購買客数は前年を下回っており、買物に対する客の慎重な様子が見える。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店の販売促進チラシの影響が大きく、価格訴求しないと来客数が増えないため、割引価格での集客が増えてきている。特に食肉や一般食品での目玉商品の有無が来店頻度に影響を与えている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・客の購買意欲は盛り上がりおらず、客単価が伸びない。
スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・9月は日曜日が前年より1日少ないため比較が難しいものの、販売点数が減少している。
スーパー（財務担当）	単価の動き	・買上点数の上昇で売上は前年を維持しているが、客の節約により1品単価が前年を下回っている。
スーパー（販売担当）	単価の動き	・残暑の影響で秋冬物の動向が鈍い。特に衣料品はいまだに夏物や処分品による売上ウエイトが高く、単価が上昇しない状況が続いている。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・8月末から週末になると台風が来ており、土日の来客数が減少したが、隣県のプロ野球チームの優勝による割引セール期間中は来客数が増えている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・経済的不安定、株の低下等により客の財布のひもが固くなっている。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・客の動きが悪い。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・業界が縮小する傾向であるのは間違いないが、前年と比較すると来客数が90%を割り込み、それに伴って購入客数も減少している。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・客の財布のひもは固く、売上は前年を維持するのが精一杯である。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・9月の販売量は前年の85%と大変厳しい状況である。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・9月の上期決算で動きがあると予想をしたものの、今までと変わらない。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・理由は不明であるが6月後半からじりじりと売上が低下してきている。
住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が減少している。
その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・秋物商品がそろっているが、客は関心があってもすぐに購入する様子がない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	来客数の動き	・8月末に大手食品テナントが撤退し、約1か月空き区画となってしまったため、来客数が前年の70%に落ち込んでいる。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・9月は大型連休があったが、前年と比べて曜日配列が悪く来客数が減少している。
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・一概には言えないが、前年に比べて連休が短いため客の来店頻度が低下している。また地元プロ野球チームの優勝効果で一時増えた客も、セールが終わると減少傾向にある。店舗前の人通りも以前に比べて少なくなっている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・夜の飲食業界はずっと景気が悪いままで、まだまだ景気が上向かず、経済が上向きにならないと悪いままである。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	来客数の動き	・サービスエリア沿線の高速道路の交通量が減少しているため来客数が少ない。

	都市型ホテル (企画担当)	単価の動き	・大型イベントによる増収影響が収束し、インバウンド団体客の宿泊受注もやや低調となっている。足元での大型ショッピングセンターの撤退など市場環境の悪化も予想される。レストラン利用での客単価もやや低迷しており、高単価店舗の集客数が減少している。
	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・景気が良くなる要素があまりになさ過ぎる。
	タクシー運転手	お客様の様子	・9月の大型連休があったが、天気が悪く特に夜間の人の動きが良くない。農繁期のため飲みに行く人も減少している。
	通信会社(広報担当)	お客様の様子	・客は性能や機能などの製品の良し悪しではなく、安さのみで判断している。
	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・台風や秋の長雨等で予定していた野外イベントが中止になり来客数が減っている。
	美容室(経営者)	それ以外	・売上、来客数共に前年と比べて激減している。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・客の消費マインドが低下しており、住宅購入に対して慎重になっている。
	住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・来場者数が減少しており、来場者の増加が見込めない。
x	商店街(代表者)	単価の動き	・8月は夏物バーゲン、9月は秋物商品の立ち上がり時期であるが、この2か月は前年売上を大幅に割り込んでおり、客に購買意欲がない。
x	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・度重なる台風の影響により来客数とレジ客数が大きく減少している。また前年と比較してかなり気温が高いため、秋物商品の動きが鈍く、前年売上を大きく下回る見込みである。
x	スーパー(店長)	来客数の動き	・8月までは来客数が前年の100~101%、客単価は102%、販売点数が102~103%で推移していたが、9月に入り販売促進の変更があって、来客数が前年の97%と減少している。
x	その他専門店 [海産物](経営者)	来客数の動き	・9月になっても相変わらず観光客は少ないままである。周辺施設、特に大型集客施設が少ないようである。
企業 動向 関連 (中国)	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先の大手自動車メーカーが順調なので、当社も景気が良い。
	木材木製品製造業 (経理担当)	受注価格や販売価格の動き	・長く続いたデフレ状況から、わずかではあるが価格が回復してきたため、受注価格や販売価格の動きが少し良くなっている。
	非鉄金属製造業 (業務担当)	受注量や販売量の動き	・為替が円高傾向であるが、金属相場が上向きで、自動車もハイブリッド車が好調に推移し、IT関連機器用材料も好調で、当面この状況が続くようである。
	輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・通信販売の荷物が好調である。9月は特需として自治体から敬老の日の祝い品を受注しており、発送数かなり伸びている。個人客の荷物も予想以上に伸び、個人市場も前年をクリアして順調に推移している。
	不動産業(総務担当)	それ以外	・賃貸物件の需要時期であり、来客数や成約件数は増加している。
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・激しい変動がないため、受注量の変動も見られない。
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・例年売上が下降する時期であり、前年並みである。
	化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・9月は売上、収益とも伸び悩んでいる。
	窯業・土石製品 製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・大口案件の納期最終段階となり、納期確保のための追い込み作業で生産は多忙な状況となっている。鉄鋼業向けの生産品は数量が低調なままで変化がない。
	鉄鋼業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・受注量は横ばいであるが、受注単価が低下してきている。
	鉄鋼業(総務担当)	取引先の様子	・活動水準が低位横ばいで、なかなか市況も好転してこない。
	金属製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・景気状況は3か月前とほぼ同じで、受注量は生産能力の60%に留まり、依然として厳しい。
	電気機械器具製造業 (総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・商談件数、見積件数共に前年同月を上回っている。しかし、成約比率は前年とほぼ同じで、新規受注先からの受注が伸び悩んでおり、受注単価がネックとなっている。
	輸送用機械器具 製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は前期に比べて若干の減少傾向となっている。

	その他製造業 [スポーツ用品] (総務担当)	受注量や販売量の動き	・現在日本、海外ともあまり景気が芳しくない。	
	建設業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・為替、金利、地政学上のリスクファクターが読みづらい。	
	建設業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・現在は目一杯の受注状況であるが、予定物件が先延ばしになるなど喜ばしい方向で受注が続いている。	
	通信業 (営業企画担当)	取引先の様子	・製造業の客を中心に来年度の大規模な設備投資案件について計画が少なく、前年同時期と比較して売上は横ばいと想定される。	
	通信業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・景況感は乏しく、客にも特別な需要の高まりはなく、販売実績も下振れで推移している。	
	金融業 (融資企画担当)	取引先の様子	・完成車メーカーの生産が円高による輸出減速と国内販売の伸び悩みから減少傾向にあるため、自動車部品メーカーの操業は徐々に低下している。部品メーカーの受注はやや減少傾向にあり、残業はあっても土曜操業はしないところが散見される。	
	金融業 (貸付担当)	取引先の様子	・取引先の中では、販売好調に伴う増加運転資金を調達する企業も一部あるが、全体的には前向きな設備投資を積極的に実施しているとは言えないことから、景気は3か月前と比べて変わらない。地元百貨店等の売上状況等を見ても個人消費が大幅に伸びているとは言えず、景気が良くなっているという実感はない。	
	広告代理店 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・事業種別では広告受注をもらえている業種ともらえていない業種とに状況が分かれているが、総合的に見ると変わらない状況で進行している。	
	会計事務所 (職員)	取引先の様子	・全般的に業績は上向きにまでは至っていない。特に製造業やサービス業では売上高が前年割れになっているところが見受けられる。また建設業も人手不足のため受注高が確保できていない。	
	農林水産業 (従業者)	それ以外	・8月と5月を比較すると、水揚げ数量は14tの増加、水揚げ金額は2,014万円の減少である。増加原因は大中型まき網漁の増加で、減少原因は沖合底引き網漁、大中型まき網漁の減少である。	
	化学工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・車の生産量の落ち込みにより関連の主要取引先が生産調整を余儀なくされており、その影響により受注量が前年比、計画比共に減収減益基調にある。	
	輸送用機械器具製造業 (財務担当)	取引先の様子	・取引先企業に新規受注がほとんどない状況なので、当然そこから当社への部品発注も停滞している。	
	輸送業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・倉庫は埋まっているものの、出庫がないので荷動きが鈍化している。国際関連貨物もあまり荷動きが良くない。	
	x	*	*	*
雇用 関連 (中国)		-	-	-
	人材派遣会社 (経営企画担当)	求職者数の動き	・登録者数が伸びており、マッチング精度や条件緩和交渉、人材提案頻度を上げた対応を心がけている。	
	人材派遣会社 (支店長)	採用者数の動き	・人材不足が影響しており、企業1社から複数の職種での求人依頼が増えている。	
	人材派遣会社 (支社長)	求人数の動き	・普段派遣や人材紹介などの人材サービスを利用していない企業からの受注が増加傾向にある。	
	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・県内の大型建設は一服感があるものの、操業を休止していた大手自動車メーカーが生産を開始し、製造業が大幅な回復基調となり、有効求人倍率も上昇を続けている。	
	職業安定所 (産業雇用情報担当)	求人数の動き	・各業種で人手不足となっていることから、新規求人数、月間有効求人数とも増加する一方、新規求職者数、月間有効求職者数とも減少を続けており、直近の月間有効求人倍率は1.74倍となり、県内で最も高い数値となっている。	
	学校 [大学] (就職担当)	周辺企業の様子	・地元プロ野球チームの優勝にあやかり、消費が拡大しそうであり、多くの企業が明るい雰囲気になっている。	

	求人情報誌製作会社（広告担当）	周辺企業の様子	・地域差はあるが、関東から関西と中四国から九州では景気の動向が違う。景気が良いと言われているが、特に大きく変わらないと答える企業が多い。それは採用者数にもつながっており、採用者数は前年比でほぼ横ばいか若干増加傾向である。文系よりも理系中心に企業の採用意欲は高くなっている。これは業種により差があり、増加傾向にあるのはメーカー、もしくは前年採用できていない小売業や介護関係が多い。
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・全国展開している小売業や飲食店グループが求人を増加させているが、地場企業の地元店舗の求人は減少傾向にある。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・新規求職者数は3か月前と比べて16.7%減少している。その中でも自己都合離職者で求職申込をする人が27.2%と大幅に減少している。景気が落ち着いており、現状に満足している人が多いことが一因である。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・求人依頼は高止まりして下がることはないが、求職者の要望も高止まりしており、ミスマッチが生じている。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・平成30年度新卒採用計画や予算の見直しを検討する企業が出始めている。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は受注が好調な食品製造や自動車部品製造を含む製造業でも前年比でマイナスになるなど、ほとんどの業種が低調なことから、求人全体でも1割減となり3か月連続して減少傾向である。
	学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・回復を期待しているが、悪い状態が続いている。
	x	-	-